

船橋市自然散策会

松が丘・木戸川コースでの親子散策会

林 信子（船橋市）

日 時： 2025 年 11 月 15 日（土） 9:30～12:00、天気 秋晴れ

場 所： 木戸川沿い（船橋市自然散策マップ 松ヶ丘・木戸川コースの一部）

参加者： 29 名（大人 14 名、子ども 15 名）

担当指導員： 勝股 山口 林 市役所職員：4 名 エコカレッジ：2 名

身近な自然環境に触れ、自然に関心を持ってもらおうと、市主催の恒例の散策会です。海老ヶ作公民館から出発です。最初に赤い実を見つけました。その木には花も咲いています。ビンゴカードにある「実がなっていた」と「花が咲いていた」に記入できそうです。葉を裏返して、何色？と聞くと、「白」とすぐに返ってきた。「葉の裏は“白だもん”と覚えてください」、これはシロダモと言いますと説明。鳥は赤が良く見え、種を鳥に食べてもらい遠くに運んでももらいます。隣はケヤキ、春に葉が出る前に花を咲かせ、花の枝には普通の葉を小さくした葉をつけ、秋に種になって枝ごと風で飛んでいきます。その枝を拾い飛ばしてみました。次にガガイモを見つけました。子供たちは葉っぱがハートの形だと言っていました。表面にイボのある大きな実がなっていたので、ちょっと失礼して縦にメスを入れて中身の種を見せてもらいました。中から白い毛の生えた種が出てきて、子供がタンポポみたいに飛んでいくと気がつききました。植物たちは色々な方法を使って、種を遠くに運び子孫を増やそうと必死ですね。

花卉がないコセンダングサの花ですが蝶たちが群がっています。虫たちにとっては花粉も蜜もくれる有り難い植物です。ウラナミシジミ、モンシロチョウ、キタテハ、ミツバチなど観察できました。種はひつつきむし。どうして引っ付くの？どうやって引っ付くの？その秘密は虫眼鏡で見たら一目瞭然、トゲに又逆さの刺が見えます。刺の様子を大写しにした写真も見せて、トゲで動物について種を運んでもらう作戦を確認しました。カナムグラやアカネも服にくっつけてみる。この茎にも鋭い逆さ向きの棘がついているのもすぐに分かってもらった。シロダモの雄木の花があったので葉の裏を見せると“白だもん”、「シロダモ」だと気が付いてくれた。雌木と花の違いの観察ができました。ヒーヨヒーヨと名を名乗るヒヨドリ、ガアガア鳴くカラス、ムラサキシキブ、サワフタギの実、ツチイナゴ、カマキリ、ジョロウグモ、脱皮殻の付いたカナヘビなどを見つけ、ビンゴカードは前半でビンゴになっていました。

今日一番の遊びはドングリゲームです。コナラ、クヌギなどドングリを拾い、恒例のドングリパチンコをしました。次はドングリ時計早落とし競争。砂時計の砂の代わりにドングリを



お友だちが見つけてくれた虫は何か？

使い、プラカップを上下に合わせ、中敷きにドングリが落ちる穴をあけ、プラカップを振りながらドングリを落とすゲームです。親子でもらい歓声が上がり、盛り上がりました。折り返し地点からは白い穂が揺れるオギを見ながら歩き、木戸川ではカメやカルガモを見つけ、コサギは何度も空を飛んで見せてくれました。

黄色に色づいたイチョウ並木を通り公民館に戻りました。皆さん虫や草花に興味津々でした。親子で今日見たことの会話が弾み、身近な自然への関心を深めてくれると嬉しいです。